

～ 滝道エリアの考え方 ～

-1 歴史のしるべ・クローズアップ事業(歴史解説サイン) 意見と検討

コンセプトがわからなかったので、選べなかった。

時代性を明治としてまちなみ整備を行う。
箕面山の自然を背景に浮立ち、落ち着いたのある盤面が良いと考える。

西江寺の歴史サインは必要。既存のものの横に同じよ
うなサインがくるのは、おかしい。

西江寺の歴史サインは滝道との分岐点に設置する。

駅前ロータリーにあるサインとの整合性は？

駅前ロータリーにあるサインと、性格がことなるもの
(歴史解説)なので、必ずしも統一したデザインの必要
性はない。

アルミサインより、野村泊月の句碑の横にあるような
ものがよいのでは。

擬木調であり、駅付近に設置するもの(電気軌道)は、
周辺景観との調和がはかりにくい。



-2 歴史のしるべ・クローズアップ事業～(ライトアップ) 意見と検討

観光客の立場にたってみると梅屋敷や瀧安寺のライトアップが優先。
句碑は汚れもあり、見えづらく、いらぬのでは。

ライトアップは時間を限定して行うことを前提とし、梅屋敷や瀧安寺もそ
の対象とする。

～ 滝道美装化(石畳)整備事業～ 意見と検討

一の橋のたまり部は、自転車、看板、サインなどしっかり整理してほしい。

自転車を背面に、看板類を整理し、スッキリした景観づくりを行う。

たまり部は石畳にこだわらない。どちらかといえば、砂利や土がよい。

夫婦橋、時雨松のたまり部では、土や砂利による整地を行う。

滝道の舗装は車や車椅子が通るので、土色のアスファルト舗装をしたい。

既存のアスファルト舗装を撤去して自然色アスファルト舗装を施すこと
により、歩行性と美観性を改善する。

～ 滝道ガス燈整備事業～ 意見と検討

照明灯のデザインは、もっとシンプルなものがよいのでは。

明治らしさを表現するため、ガス燈風のデザインを用いる。
(瀧安寺や箕面ホテルでも使われている)

電球の色は温かみのある電球色で統一しよう。

電球の色は、暖かみのある電球色で統一します。

一の橋から駅広の区間は電柱を塗るなど、美観に努める。

電柱など、目立ちにくくできるか、占有者(関西電力・NTT)と協議する。